

科目名称：	地域課題演習	
担当者名：	地域連携貢献センター長、白山手取川ジオパーク推進協議会	
区分	授業形態	単位数
専門教育科目	演習	1
授業の目的・テーマ		
この授業は白山市の豊かな自然、文化、歴史をジオ（大地）の資源とリンクさせた形で総合的に理解すると共に白山手取川ジオパーク公認観光ガイドの養成を目的としている。また、観光業におけるホスピタリティーやマナーを学び、コミュニケーション能力向上を目指し、ツアー作成やガイド台本作成、現地実習などで実務的なスキルを磨く。 ※ただし、第1回～第7回・14回・15回においては、18:30～20:00の実施予定である。また、現地研修1、2はバスを利用し、実際の観光現場を訪問する研修を2日間企画している。		
授業の達成目標・到達目標		
白山手取川ジオパークを軸に白山市の観光産業や自然、文化、歴史を総合的に理解し、観光業、ガイド業などにおける実務的なスキルを身に着ける。 ※本授業の終了後、継続して行われるガイド養成講座において必要授業を受講し、試験に合格することで白山手取川ジオパーク公認観光ガイドの資格を得る事ができる。		

基礎教育科目	ディプロマポリシー（卒業認定・学位授与の方針）	重点項目
DP(1)	建学の精神「遊学の精神の涵養」と設立の理念「金城から地球を歩こう」を基に、基礎知識を修め、地域社会を理解するとともに多様な文化に対応できる幅広い教養が身についている。	○
DP(2)	優れた専門知識や技能を修得し、他者と協調・協働し、社会の一員として、それぞれの専門分野において貢献できる実践力を身につけている。	
DP(3)	多様な社会に対応できるよう豊かな人間性を養い、人との関わりの中で自己の考えを的確に表現するとともに、他者の意見を尊重し良好な信頼関係を築いていくことができる。	
DP(4)	学生一人ひとりが、様々な課題に取り組み解決する学修経験を積み重ねることで、その場の状況に応じた活用力が身についている。	

評価方法/ディプロマポリシー	定期試験	クイズ 小テスト	提出課題 (レポート含む)	その他	合計
全学DP(1)	0		40	60	100
全学DP(2)					0
全学DP(3)					0
全学DP(4)					0
					100

実務経験のある教員の担当	担当教員の実務経験の内容（内容・経験年数を記載）	
あり	日比野 剛 ：白山手取川ジオパーク専門員	《経験年数1》
	《内容2》	《経験年数2》
	《内容3》	《経験年数3》
	《内容4》	《経験年数4》

備考

到達目標ルーブリック	すばらしい	とてもよい	よい	要努力
課題評価	記述に発展性が見え、通常の感覚に基づく新たな発見がある場合	自分なりの考えと整理があり、さらに発展的な記述がある場合	記述に自分なりの考えと整理がひとまず見られる場合	提出はしたが記述内容は書いたのみという程度
現地研修	身振り手振りを交えて豊かな知識量を持ってガイドができた	トーク内容がお客様の知的好奇心を満足させるガイドができた	ハキハキとお客様に好印象のガイドができた	ペーパーをずっと見ながら、ガイドを実施していた

授業の内容・計画	事前事後学修の内容	事前事後学修時間(分)
第1回 オリエンテーション 白山市の観光の現状とジオパークについて	本シラバスを精読し、白山手取川ジオパークというキーワードで予習をする。	30分
第2回 ジオパーク①「山と雪のエリア」「川と峡谷のエリア」エリアをつなぐストーリー①	インターネットや本などを使い、ジオパークの山と雪のエリア/川と峡谷のエリアを調べる。	30分
第3回 ジオパーク①「川と峡谷のエリア(つづき)」「海と扇状地のエリア」エリアをつなぐストーリー②	インターネットや本などを使い、ジオパークの海と扇状地のエリアを調べる。	30分
第4回 ツアーを作ってみよう(グループワークでツアー案を作成する)	これまでに学んだことを復習し、魅力的なスポットを確認すること。	30分
第5回 ガイド台本をつくってみよう(各グループで作成したツアーのガイド台本をプレゼンテーションする)	ツアーコースの内容と場所についてグループマップなどを使い、調べる。	60分
第6回 ホスピタリティー&マナー①	自己紹介内容を考え、練習すること。	60分
第7回 現地研修1「山と雪のエリア1」(プレゼンテーション)		30分
第8回 現地研修1「山と雪のエリア2」(プレゼンテーション)	ツアーコースとガイド台本を確認し、資料を見ないで説明できるように練習しておくこと。	30分
第9回 現地研修1「山と雪のエリア3」(プレゼンテーション)		30分
第10回 現地研修2「川と峡谷のエリア・海と扇状地のエリア1」(プレゼンテーション)		30分
第11回 現地研修2「川と峡谷のエリア・海と扇状地のエリア2」(プレゼンテーション)	現地研修1を振り返り、ツアーコースとガイド台本を確認し、余裕を持ってガイドできるようによく練習しておくこと。	30分
第12回 現地研修2「川と峡谷のエリア・海と扇状地のエリア3」(プレゼンテーション)		30分
第13回 ジオパーク②ジオパークエリアの歴史と文化	ジオパーク①の内容を復習し、3つのエリアのストーリーをまとめておく。	30分
第14回 ジオパーク②ジオパークエリアの生物	ジオパーク①の内容を復習し、エリア3つのストーリーと歴史と文化をまとめておく。	30分
第15回 ホスピタリティー&マナー②	実際にガイドをすることを想定し、練習すること。	30分

事後学修時間については、受講するにあたっての最低限の目安を明記したが、単位取得のためには原則として授業時間と事前事後学修を含め学則第17条の2で規定された学修時間が必要である。
また、事前事後学修としては、次回までの課題プリント(小レポート)をまとめることになる。

成績評価の方法・基準

定期試験は、実施しない。その他の評価配分は、以下のとおりである。
授業内で作成する「ツアー」および「ガイド台本」を使った現地研修1および現地研修2では、ロールプレイを実施するが、その実演を60%で評価する。また、1~7・14・15回の授業内での課題評価を40%で評価する。なお、2・3回および13・14回のジオパークについてはプラス2回の授業が用意されており合計17回となっているが、最低出席回数は学校規定に準ずる。

課題に対してのフィードバック

最終レポートを評価し返却する。

教科書・参考書

教科書は指定しない。授業内でプリントを配付する。参考書としては、白山市観光連盟発行の「白山検定参考書」を勧める。